



ある料理研究家が、今朝のラジオで言  
かたに持たずには、実は大変なことです。  
が、こころの施しなどまともにできない私  
のかかなに願われ、如来のこころの施しの  
よで気付かせていいことに、お念佛の  
よりも大切なことではありますまい

ておばでての前もてだては働き生涯一  
そやかにうじりいぢきで言ふ私の間と  
思だをうつ呼ばんしわれの名でんで不  
でんく孝。つ名前誰わすでく孝。  
すれで九づ前をがかうだたて健ボ  
。たあ十けだいきらちがえ、健康で、働き  
亡、つ八たけうてなのが見舞にきてしま  
くそたののがののもい家ボケてしまつめに  
なれわ最は、ケすとともに息きてくめた。  
つがた後、なたお会ろ子くわしの最後  
たわしのなんおやのつがのくわしの最後  
今たのなましにし名後まじ名て寝嫁  
なの前まじ

心施 (しんせ)



十月九日、出石町民センターに仏杜仏婦等各種教化団体の代表400名をあつめて開かれた総結集大会は、それぞれの団体代表の実践発表を軸に大きく盛り上がりました。（今号以降順次掲載致します。）日本舞踊・琴尺八のアトラクション、ことにインド舞踊の特別出演もあってはちきゅれんばかりの熱気があふれましたその中で都呂須講師による「御同朋の社会をめざして」と題した記念講話がひとしおこころにしみわたりました。また、この大会を機に結成された出石組仏教聖歌隊による音楽法要は格別の感銘をよびました。

出石組の御同朋としての連帶のなかから、新しい念佛の社会がここからひらけだしでゆくことが期待されます。

## 出石組朋 御同総結集大会



ざいました。早速書の二  
略儀御札まで。されば、  
事でございました。早速書の二  
略儀御札まで。されば、  
事でございました。早速書の二  
略儀御札まで。されば、

わたしの理解しますところでは、お念佛はならない。お念佛のところで差別を越えていいこうと、いう運動であると、私はいただいております。このことは、ことに門徒総代として勤めさせていただいている者にとつて、欠けてはならない視点であると思います。総代ということで、ご住職を支えて、「お念佛ひろまれ」とお手伝いさせていただけめさせていただいている者にとつて、欠けてはならない視点であると思ひます。

寺にあります。十九寺合計しますと総数七〇名であります。この七〇名の門徒総代が、毎年九月の第一日曜日を「出石組総代会研修の日」と定めております。この出石組には、幸い有能なご住職が多くいてくださいますので私達の研修を多く述べてくださいます。講師にはこと欠きません。これはずれんといつてもわが出石組の強みであります。そのご院家様のご指導を仰いで研修を積んできたのでござります。

基幹運動と申しますのは、いまさら申すまでもないことをですが、門信徒会運動と同朋運動とが一つのものとして進められる運動であります。

その研修の眼目は勿論いま私達の宗門がすすめております基幹運動であります。

出石組総代会会長の多田実でございます。  
出石組総代会の現状の報告と併せて今後への願いとを申し述べてみたいと存じます。  
と申しましても、多くは私の私見でございまして、当を得ていないこと、的外のことも多からうとおもいますが、厳しいご批判とご親切なご指導をいただきまして、更に宗門護持・寺運発展に向かって前進したいと存じますので、何卒よろしくお願ひ致します。

願であります。淨土真宗のより所は、如来さまのご本願のご本願は、「設我得仏十方衆生」と、分け隔てなく一切衆生をよんでもくだされおります。したがつて「みんな来て、一緒に来い」とよんでくださるご本願を聞くのに、別に隔てや差別があるわけではありません。どころがどころだとえればこの出石組にあって、ほんとに分け隔てなく平等にご本願おみのりにあえていいるだらうか。19ヶ寺をみますと、それぞれにいろいろな事情、のびきならぬ事情があつて、どこのご門徒もおなじようにおみのりに会えるといふ具合には行かない現実があることを見逃してはなりません。同じよう状態をのりこえて、だれもがけるのには、おみのりに出会える状態にすがる寺、それぞれつ作れる以外ありません。他の個性をもちながらぬ事情をもつて、それがたをしていく寺、それがたをする全体がでしんが、それ帶手を結んでしまった寺、それがたをかく性であります。他に特殊な思想うのですがら全体